
アフィリエイト様向け クラウド会計ソフト 比較ガイド

Powered by
クラウド会計ソフトfree (フリー)



はじめに

本ガイドではクラウド会計ソフトの比較や、free の特徴などを具体的に
知ることができるコンテンツを記しています。コンテンツの作成などに
ご活用いただけますと幸いです。

Index

アフィリエイト様向けクラウド会計ソフト比較ガイド

- | | |
|------------------------|----|
| 1. クラウド会計ソフト free の特徴 | P4 |
| 2. 他のクラウド会計ソフトとの違い・優位点 | P6 |
| 3. よくある質問 (FAQ) | P7 |

1-1 クラウド会計ソフト free の特徴

○ 豊富なレポート類で経営状況がわかる

free の特徴は、会計のデータが反映される書類・レポート類が日々の取引の入力によりリアルタイムに作成される機能があることです。作成されるレポートは以下の通りです。

- ・収入レポート
- ・支出レポート
- ・収支レポート
- ・売掛レポート
- ・買掛レポート
- ・現預金レポート
- ・資金繰りレポート
- ・集計表

これらのレポートは、日々会計ソフトを利用しているだけでリアルタイムに内容が反映されて作成されます。収支状況の確認だけでなく、売掛金・買掛金の管理や資金繰りまで、豊富なレポート類で企業の経営をサポートします。

○ 経理の時間が 50 分の 1 に

会社で利用している銀行口座やクレジットカード、POS レジや EC サイトなどの明細を自動取得することで仕訳を登録できます。また、光熱費や通信費など、毎月発生する料金は機械学習により勘定科目を自動で推測します。

また、領収書は手元のスマートフォンで撮影するだけでデータがクラウド上に保存され、金額や勘定科目も自動で推測して入力の補助がされます。入力にかかる手間が短縮され、より本業に集中する環境を作ることができます。

1-2 クラウド会計ソフト free の特徴

○ 請求から経費精算までオールインワンの会計ソフト

通常の会計ソフトでは、請求書などは別のプロダクトになっているケースが多いですが、freeでは会計ソフト単体で請求書・見積書の作成が可能です。当然請求書情報はすべて会計ソフトに反映することができます。

また、経費精算にも対応しており、経費の承認は全て free 上で完結できます。従業員向けアプリ「free for チーム」を利用すれば、従業員の方が行う経費精算などもスマートフォンから行うことができます。

○ 最新の税制や法改正に対応

クラウド会計ソフトである free は日々、改善や法改正の対応のためにアップデートを重ねています。パッケージ版のソフトなどの場合、法改正のたびに買い替えが必要なケースがほとんどですが、free は無料でアップデートされるため、買い替えは不要です。

また、話題のマイナンバー制度管理も「マイナンバー管理 free」を利用することで、安全かつ簡単に行うことができます。（「マイナンバー管理 free」は「給与計算ソフト free」もしくは「会計ソフト free」をご利用いただくことで、セットで利用できます。）

○ mac・モバイルでも会計業務が可能

会計ソフトがインストールされたパソコンからしか作業できない通常のパッケージ版のソフトや Excel とは異なり、複数のパソコンや、タブレット、スマートフォンからでも作業できます。そのため、時間や場所を選ばずに会計業務ができ、時間をより有効に使えます。

また、複数人による会計ソフトの利用も可能であるため、複数人による最新のデータの参照や入力も可能です。

2 他のクラウド会計ソフトとの違い・優位点

○クラウド会計ソフトとしてシェア No.1

freeは2016年3月現在、60万人以上の事業所に利用され、クラウド会計のシェアでは3年連続でNo.1（デジタルインファクト調べ）を獲得しています。

freeのプロダクトリリース後、多くのクラウド会計ソフトが登場しておりますが、クラウド会計ソフトの中でも歴史が長く、多くの人に安心してご利用いただけるソフトとなっております。

○繁忙期でも安心

クラウドサービスの場合、繁忙期などでサービスへのアクセスが増えてしまうとサーバーがダウンしてしまい利用できないことがあります。

freeは特に利用するユーザーが多い2016年2月の1ヶ月間において、稼働率100%を達成いたしました。サービスを利用する人が多く、混雑している場合でも安心して利用できるクラウド会計ソフトです。

○複数の機能を安価で利用可能

クラウド会計ソフトのサービスは多く出回っていますが、請求書の作成や経費精算など、経理業務に必要な機能が別ソフトで対応している場合が多いです。そのため、これらの機能を含めた場合、トータルコストがかなり高額になることも少なくありません。

また、請求書を作成するソフトと会計ソフトが同じ会社から販売されていても、それぞれのソフトに入力したデータに互換性があるとは限りません。

freeでは、会計ソフトに請求書の作成機能や経費精算の機能が付いており、給与計算も「クラウド給与計算ソフトfree」を使うことで、容易に連携できます。会計ソフトと給与計算ソフトで請求書の発行や経費精算の機能をカバーしているため、安価に経理や給与計算などの作業が行えます。

3-1 よくある質問 (FAQ)

○ 他社のクラウド型会計ソフトと比べて 対応金融機関数が少ないように感じます

主要な金融機関についてはほとんど対応しております。また、2015年12月には三菱東京UFJ銀行やみずほ銀行などの11行の銀行との協業を発表しております。

ご自身の金融機関が free に対応しているかの確認は、対応金融機関リスト (https://secure.freee.co.jp/walletables/sync_bank_list) をご覧ください。

○ クラウド会計ソフトの仕訳を税理士さんが 見てくれるのか心配です

顧問税理士さんが free 以外のソフトを利用しているため、別の会計ソフトへの乗り換えが難しいということはないでしょうか。free の仕訳データは他社ソフト形式の CSV・PDF 形式で出力ができ、税理士さんがソフトを指定している場合でも利用可能です。

また、free には「認定アドバイザー制度」というものがあり、2016年3月現在、約2400の税理士さんが free のアドバイザーとして活動しております。

(https://advisors.freee.co.jp/tax_accountants/search)

もし現在税理士さんへのご依頼を検討しているのであれば、free に対応してくれる税理士さんを紹介する制度もございます。ぜひご活用下さい。

○ free は現金主義の簿記しかできないのですか？

free では発生主義の簿記に対応しております。銀行口座と同期した情報を元に記入する場合であっても、債権・債務の消し込みの情報を用いることで発生主義の簿記をすることができます。

法人の会計では発生主義簿記を原則とするケースが多いですが、現金主義と発生主義、どちらの簿記にも対応しているため、free での法人会計はもちろん可能となります。

3-2 よくある質問 (FAQ)

○パスワードなどを入力するので、セキュリティが心配です
freeでは、パスワードやID、金融機関のログイン情報などの重要な機密情報は暗号化されて保護・保存されています。また暗号通信には金融機関と同等のセキュリティレベルのものを採用し、万全のセキュリティ体制を整えています。

さらに、国際的なセキュリティの認証機関である TRUSTe による認証も取得しております。(<https://www.truste.or.jp/>)

○月々や年ごとの課金だと
パッケージ版のソフトより割高ではないですか？

パッケージ版のソフトは法改正や税制改正に対応アップデートのため、買い替えが必要になる場合が多く、その度に膨大なコストが生じてしまいます。クラウド会計ソフトは法改正などの変更時も追加料金が発生せず、自動で対応するため、割安となることが多いです。

また、請求書の発行や給与の計算などで会計ソフトとは別のサービス・ソフトを利用すると、連携の兼ね合いで使えるソフトが制限されてしまうだけでなく、導入の度にパッケージ版のソフト・Web サービスの契約を強いられ、かなり高額になることがあります。

freeは請求書・見積書・納品書の作成が可能となっており、別途「クラウド給与計算ソフト free」をご利用いただくと、給与計算と会計ソフトとの連携もスムーズになります。

○サポート体制はどのようになっているのでしょうか？

現在、freeではチャットサポートとメールサポートをご用意しております。営業時間内であれば、チャットサポートにてリアルタイムにサポートを受けられます。また、メールもお急ぎの場合約1営業日で返信いたします。

チャットサポートの満足度も高く、97.0%の方がチャットサポートに満足したとの回答も得ております。(集計期間：2015年12月1日-28日)

3-3 よくある質問 (FAQ)

○ 料金体系はどのようになりますか？

社名の「free」は無料であることを意味しているのではなく、ビジネス上の面倒な業務から「解放する」という意味で付けられたものです。

有料プランでは、仕訳帳・総勘定元帳などの出力や会計データの閲覧、請求書の作成を無制限に利用できます。「freeを導入しようと思ったが実際に使えるのか試してみたい」「freeの操作を体感したい」という方には、無料のお試し期間もご用意しています。

○ 現在利用している会計ソフトからの移行はできますか？

freeには他社会計ソフト（弥生会計、会計王、MFクラウド、Excelなど）のデータをインポートし、freeのデータに変換する機能がございます。もし、現在別の会計ソフトやExcelをご利用であっても、インポートし仕訳データなどを移行することが可能ですから、決算後でなくてもいつでもfreeに移行することが可能です。

また法人のユーザーの方に対してはサポートとして、他社の会計ソフトからの移行や初期設定を代行するサービスも行っております。

○ freeは単式簿記での入力しかできないのですか？

freeは複式簿記の形式に対応しております。専門知識のない方でも簡単に記帳ができるため、単式簿記のように見えますが、内容は自動で複式簿記の内容に変換されて保存されています。

また、「振替伝票」というメニューを用いれば、複式簿記の形式で直接記入も可能です。詳しくはヘルプページをご覧ください。

<https://support.freee.co.jp/hc/ja/articles/207362843-freee-%E3%81%AF%E8%A4%87%E5%BC%8F%E7%B0%BF%E8%A8%98-%E4%BB%95%E8%A8%B3-%E5%BD%A2%E5%BC%8F%E3%81%AB%E5%AF%BE%E5%BF%9C%E3%81%97%E3%81%A6%E3%81%84%E3%81%BE%E3%81%99%E3%81%8B-%E3%81%AF%E3%81%84-%E5%AF%BE%E5%BF%9C%E3%81%97%E3%81%A6%E3%81%84%E3%81%BE%E3%81%99#2>

freeのアフィリエイトで成果を出されている方の中には、ご自身でfreeを利用し、体験に基づいたコンテンツを提供されている方が多数いらっしゃいます。また、freeのメイン機能である「自動で経理」をはじめとした機能は、使ってみてはじめてその便利さを理解できる部分もあります。ぜひfreeをお試しいただき、得られた感想や気づきを記事化いただくと、成果につながりやすいと思います。

クラウド会計ソフト free



新設法人にぴったりのクラウド型の会計ソフト。月額1,980円で、日々の経理から決算書の作成まで行えます。

また、請求書の発行や売掛金の管理も行えるので、バックオフィス業務全体を楽にして、本業に集中する環境を作ることができます。



[こちらから今すぐ無料お試しいただけます。](#)

クラウド給与計算ソフト free



会社を設立したら、社会保険料や税金の計算が待っています。

クラウド型の給与計算ソフト freeなら、毎月の給与明細の発行はもちろん、年末調整や勤怠管理にも対応。

freeが面倒な給与計算業務をカンタンにします。

[こちらから今すぐ無料お試しいただけます。](#)

スモールビジネスに携わるすべての人が、
創造的な活動にフォーカスできるよう



※当ガイドは信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。ご了承ください。

